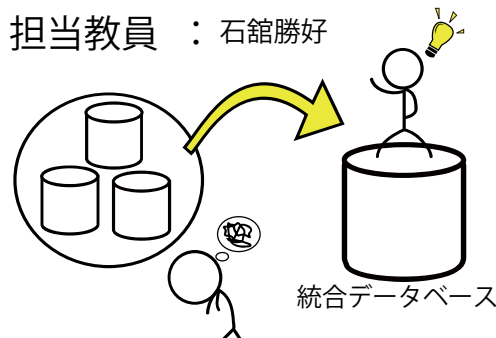


時間割・電子出席簿・欠席連絡 を統合させたシステムの開発

研究理由

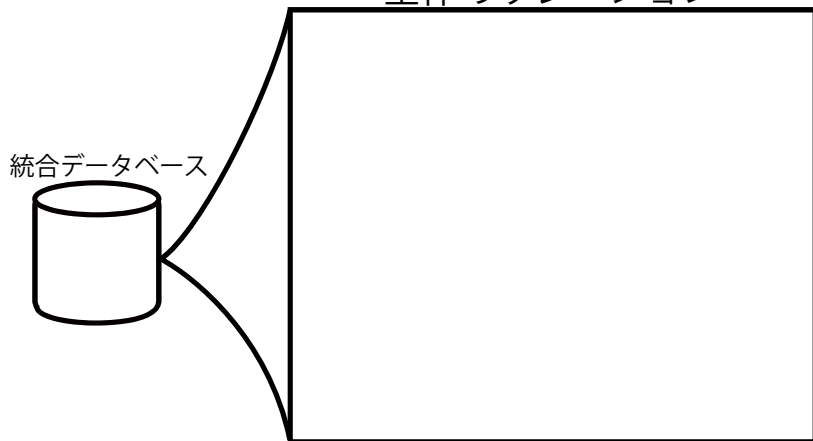
現在の時間割・電子出席簿・欠席連絡がそれぞれ別々のデータベースで管理していて、**使いづらい、エラーが起こる等の問題があった**そのデータベースを1つに統合して使いやすくする。

情報技術科： 石川孝悌 石川太郎
岩城雄政 多田小太郎
担当教員： 石舘勝好



全体のデータベースについて

全体のリレーション



システム設計の比較



・上の図は、**左**が既存のデータベースと各システムの連携で**右**が今回開発した統合データベースと各システムとの連携である。

時間割

時間割で使うテーブル

- ・時限：何コマ目かを格納する。
- ・外部キー：科目・教室・教員・コマ
- ・更新日時：データベース更新に時変動

- ・コマID：主キーに設定
- ・外部キー：科目・教室・教員・コマ

インターフェース

教師側：時間割表を作成する。

①時間割表

日付・学生・何 時間目かを確認しやすい。
ボタンで週の日付を変更できる。

②コマ目作成フォーム&コマ目リスト

授業・教員・教室・メッセージ細かく設定し、作成することができる。
1・2年生それぞれのコマ目をフォームで選ぶことにより、リストで管理できる。

学生側：時間割表を見る。

作製したコマ目を当てはめる。

作製したコマ目を、**ドラッグ&ドロップ**で時間割表に当てはめて、1週間単位で作製できる。



コマ目をさくせいする。

コマ目を作成すること出来る。
授業名・教員名・教室名
メッセージそして、何年生の授業なのかを指定して、そのコマ目を作成できる。

電子出席簿

出席情報テーブル

出席情報 ID を主キーとし、届け出情報テーブル、学生テーブル、時間割テーブルを参照。
前半欠席フラグと後半欠席フラグは 0 と 1 の true と false で格納する。

出欠席データの流れ

【システムとデータベースの流れ】

届け出情報テーブルから出席簿システムに欠席情報を挿入し、次に出席簿で入力したデータを出席情報テーブルに挿入して出席情報テーブルからセレクトし、出席簿システムに表示する。

出欠確認ページ

【PC 画面】

【スマホ画面】

スマホで表示した場合も PC 画面と同じように表示される。

【欠席データ入力例】

欠席開始時間、欠席終了時間、欠席理由は、欠席届の情報を参照して開いた日付のデータを表示している。ユーザーは、実際の出席状況、実際の欠席開始時間と欠席終了時間、メモを入力して「データを保存・送信」ボタンを押して入力が完了する。

まとめ

私たちが作った時間割・電子出席簿・欠席連絡を産技短の方々が使い充実した学校生活の手助けになればいいなと思っています。